



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月27日

上場会社名 株式会社東陽テクニカ 上場取引所 東  
 コード番号 8151 URL <http://www.toyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五味 勝  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 十時 崇蔵 (TEL) 03-3279-0771  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	3,716	△22.7	△266	-	△149	-	△126	-
28年9月期第1四半期	4,804	5.0	102	△38.2	130	△57.0	77	△61.9

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 200百万円(△24.9%) 28年9月期第1四半期 266百万円(△41.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	△5.11	-
28年9月期第1四半期	3.03	3.02

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、当第1四半期連結累計期間においては潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	32,506	28,595	87.7
28年9月期	33,353	28,883	86.3

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 28,501百万円 28年9月期 28,795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	16.00	—	20.00	36.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	8.00	—	12.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	△3.8	1,250	△19.1	1,300	△18.4	800	△23.3	32.38
通期	22,000	1.5	1,000	△24.0	1,050	△24.8	650	△26.7	26.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期1Q	28,085,000株	28年9月期	28,085,000株
29年9月期1Q	3,374,112株	28年9月期	3,374,638株
29年9月期1Q	24,710,748株	28年9月期1Q	25,700,957株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは“はかる”技術を基本としたビジネスコンセプトを継続しながら、研究開発市場に傾注してまいりました。そして国内産業の次なる成長の糧となる“新しい技術・製品の開発”の一翼を担うべく、欧米を中心とした先端計測技術・機器の導入と、ソフトウェアを中心とした自社システム製品の増強に力を入れてまいりました。また、中国を中心としたアジア市場に加え、米国市場にも目を向け、当社製品のユーザー開拓に注力してまいりました。

この結果、連結売上高は37億1千6百万円（前年同四半期比22.7%減）となり、この内、国内取引高は35億2千7百万円、中国や韓国を中心とした海外取引高は1億8千8百万円となりました。

利益面では、営業損失2億6千6百万円（前年同四半期は1億2百万円の営業利益）、経常損失1億4千9百万円（前年同四半期は1億3千万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億2千6百万円（前年同四半期は7千7百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、全社費用の配分基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第1四半期連結結果計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

#### (情報通信)

情報通信におきましては、国内キャリアの次世代ネットワーク開発への取り組みなどで投資が継続し、テスト製品需要が堅調に推移しています。また、平成28年1月からスタートした、自社製品のSynesisパケットキャプチャ製品のビジネスは金融業及びエンタープライズ企業、キャリアをはじめとして順調に受注が伸びておりますが、部材調達と製造のため、多くの出荷は第2四半期連結会計期間を予定しています。この結果、売上高は7億3千3百万円（前年同四半期比32.1%減）、営業損失は1億9千2百万円（前年同四半期は6千2百万円の営業損失）となりました。

#### (物性/エネルギー)

物性/エネルギーにおきましては、次世代電池や燃料電池などの自動車向け評価システムの販売は前年並みでした。一方で物性評価装置も含めた公的機関向けや国家プロジェクト案件の販売については、端境期となっていることもあり全般的に低調でした。この結果、売上高は5億2千1百万円（前年同四半期比21.7%減）、営業損失は4千4百万円（前年同四半期は4百万円の営業損失）となりました。

#### (ナノイメージング)

ナノイメージングにおきましては、国内メーカとの性能差が縮小してきており、厳しい価格の競合状態が継続しています。この結果、売上高は2億2千万円（前年同四半期比12.8%増）、営業損失は4千8百万円（前年同四半期は4千5百万円の営業損失）となりました。

#### (EMC/大型アンテナ)

EMC/大型アンテナにおきましては、主要顧客である自動車関連の国内及び中国でのEMC大型案件の販売が一段落しました。この結果、売上高は5億1千3百万円（前年同四半期比20.6%減）、営業損失は8千8百万円（前年同四半期は2千7百万円の営業利益）となりました。

#### (機械制御/振動騒音)

機械制御/振動騒音におきましては、一部の計測システムの受注に遅れがあり販売が減少しましたが、センサー類の販売は好調を維持しました。この結果、売上高は12億3百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益は3億1千3百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。

#### (海洋/特機)

海洋/特機におきましては、大型案件が無かったことに加え、在庫品の一部について評価損を計上いたしました。この結果、売上高は9千7百万円（前年同四半期比72.9%減）、営業損失は1億4百万円（前年同四半期は5千3百万円の営業利益）となりました。

(ソフトウェア開発支援)

ソフトウェア開発支援におきましては、組込み市場への静的解析ツールなどの既存製品の売上は堅調に推移しましたが、機能安全テスト製品は製造元からのリリースが第2四半期連結会計期間へ遅れ、受注に至っておりません。一方で、エンタープライズ市場へ参入するための新規取扱いメーカのアプリケーション・セキュリティテスト製品は、既に受注を得ておりますが、販売経費が増加しました。この結果、売上高は1億7千5百万円（前年同四半期比17.4%増）、営業損失は1千7百万円（前年同四半期は1千万円の営業損失）となりました。

(メディカルシステム)

メディカルシステムにおきましては、主力である医療機器メーカー向けOEM製品と、液晶評価システム共に動きが鈍く販売が遅れが発生しています。また、韓国向け輸出についても継続して韓国景気の落ち込みに影響を受けています。この結果、売上高は2億5千1百万円（前年同四半期比50.8%減）、営業損失は2百万円（前年同四半期は8千9百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億4千7百万円減少し、325億6百万円となりました。主な減少要因は、有価証券の減少17億3千3百万円等によるものであります。一方、主な増加要因は、投資有価証券の増加12億3百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ5億5千9百万円減少し、39億1千万円となりました。主な減少要因は、未払法人税等の減少4億6千4百万円、賞与引当金の減少3億5千8百万円等によるものであります。一方、主な増加要因は流動負債のその他の増加1億6千9百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億8千8百万円減少し、285億9千5百万円となりました。主な減少要因は、配当金の支払等による利益剰余金の減少6億2千1百万円等によるものであります。一方、主な増加要因はその他有価証券評価差額金の増加1億8千5百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の連結業績予想につきましては、平成28年10月31日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,320,165	1,911,815
受取手形及び売掛金	4,256,386	3,792,681
有価証券	5,084,178	3,350,882
商品及び製品	772,993	1,137,848
繰延税金資産	346,397	329,189
その他	470,569	495,825
貸倒引当金	△400	△400
流動資産合計	13,250,291	11,017,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,200,083	2,186,505
車両運搬具(純額)	9,181	10,205
工具、器具及び備品(純額)	603,547	580,632
土地	5,602,385	5,607,940
建設仮勘定	—	112,324
有形固定資産合計	8,415,197	8,497,608
無形固定資産		
のれん	154,192	172,931
ソフトウエア	435,948	395,304
ソフトウエア仮勘定	576,089	688,315
その他	16,087	16,017
無形固定資産合計	1,182,317	1,272,568
投資その他の資産		
投資有価証券	7,426,303	8,629,666
退職給付に係る資産	400,825	399,392
長期預金	1,900,000	1,900,000
その他	804,641	814,887
貸倒引当金	△25,800	△25,800
投資その他の資産合計	10,505,971	11,718,146
固定資産合計	20,103,487	21,488,323
資産合計	33,353,778	32,506,166
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,472,572	1,510,624
未払法人税等	543,503	78,587
賞与引当金	591,415	233,262
役員賞与引当金	49,000	12,125
その他	1,145,347	1,314,901
流動負債合計	3,801,839	3,149,502
固定負債		
退職給付に係る負債	580,550	579,148
繰延税金負債	25,355	116,868
その他	62,156	65,065
固定負債合計	668,063	761,082
負債合計	4,469,902	3,910,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,158,000	4,158,000
資本剰余金	4,603,500	4,603,500
利益剰余金	23,606,039	22,984,714
自己株式	△3,798,476	△3,797,867
株主資本合計	28,569,063	27,948,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	408,658	594,387
繰延ヘッジ損益	△21,334	52,771
為替換算調整勘定	△142,743	△79,982
退職給付に係る調整累計額	△18,383	△14,241
その他の包括利益累計額合計	226,196	552,935
新株予約権	88,616	94,298
純資産合計	28,883,875	28,595,580
負債純資産合計	33,353,778	32,506,166

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	4,804,601	3,716,328
売上原価	2,840,819	2,001,992
売上総利益	1,963,782	1,714,336
販売費及び一般管理費	1,861,710	1,980,556
営業利益又は営業損失(△)	102,071	△266,219
営業外収益		
受取利息	9,330	3,493
受取配当金	20,813	21,543
為替差益	20,898	28,639
助成金収入	—	54,574
その他	10,455	12,958
営業外収益合計	61,498	121,209
営業外費用		
支払利息	2,121	1,367
有価証券売却損	6,000	—
持分法による投資損失	24,852	3,145
その他	501	—
営業外費用合計	33,475	4,512
経常利益又は経常損失(△)	130,094	△149,522
特別利益		
固定資産売却益	15,949	19,623
特別利益合計	15,949	19,623
特別損失		
固定資産処分損	16	1
特別損失合計	16	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	146,027	△129,901
法人税、住民税及び事業税	5,000	3,000
法人税等調整額	63,130	△6,570
法人税等合計	68,130	△3,570
四半期純利益又は四半期純損失(△)	77,896	△126,330
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	77,896	△126,330



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	77,896	△126,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192,767	185,729
繰延ヘッジ損益	6,228	74,106
為替換算調整勘定	△2,252	65,248
退職給付に係る調整額	△459	4,141
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,322	△2,486
その他の包括利益合計	188,960	326,739
四半期包括利益	266,857	200,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266,857	200,408
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	情報通信	物性／エネルギー	ナノイメージング	EMC／ 大型アンテナ	機械制御／ 振動騒音
売上高	1,079,726	665,347	195,465	646,577	1,197,649
セグメント利益又は 損失(△)	△62,108	△4,957	△45,973	27,196	299,033

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	海洋／特機	ソフトウェア 開発支援	メディカル システム	
売上高	360,271	149,262	510,302	4,804,601
セグメント利益又は 損失(△)	53,253	△10,887	89,183	344,739

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	344,739
全社費用(注)	△242,668
四半期連結損益計算書の営業利益	102,071

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	情報通信	物性／エネルギー	ナノイメージング	EMC／ 大型アンテナ	機械制御／ 振動騒音
売上高	733,317	521,011	220,511	513,687	1,203,704
セグメント利益又は 損失(△)	△192,051	△44,880	△48,127	△88,936	313,892

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	海洋／特機	ソフトウェア 開発支援	メディカル システム	
売上高	97,767	175,205	251,124	3,716,328
セグメント利益又は 損失(△)	△104,296	△17,853	△2,713	△184,966

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△184,966
全社費用(注)	△81,252
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△266,219

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、全社費用の配分基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

平成28年10月31日開催の当社の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、平成29年1月13日付で実施いたしました。

①消却の理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主価値の向上を図るため

②消却する株式の種類

当社普通株式

③消却する株式の総数

2,000,000株

④消却後発行済株式数

26,085,000株